

第9回知立市史編さん委員会 会議録

会議名	<input checked="" type="checkbox"/> 編さん委員会 <input type="checkbox"/> 編集委員会 <input type="checkbox"/> _____ 部会
-----	--

平成29年 8月 1日	開催場所	中央公民館中会議室 午後2時00分～3時50分
出席者・委員	林市長・清水副市長・川合教育長・太田教育委員会代表・清水文化財保護委員会代表・杉浦小中学校校長会代表・近藤文化協会代表・小林区長会代表・西宮編集委員会代表・山口企画部長・岩瀬総務部長・石川教育部長	
事務局	堀木田課長・鈴木課長補佐・糟屋・杉浦・中川	
<p>事務局：第9回知立市史編さん委員会を開催いたします。新美委員は都合により欠席されることのご連絡をいただいております、ご出席の委員は13名中12名になります。人数が過半数に達していますので、知立市史編さん委員会規程第5条第2項により、本委員会は成立していることをご報告いたします。なお、本委員会の会議録につきましては、各委員名などを記入の上ホームページにて公開いたしますので、ご了承願いたいと思います。</p> <p>1 あいさつ</p> <p>林 会 長：第9回知立市史編さん委員会に、ご多用の中ご参集賜り誠にありがとうございます。7月15日に新編知立市史資料編「近代・現代」の刊行記念講演会が行われ、多くの皆様にお越しいただきました。今年度は資料編「近世」、「自然」を刊行する予定です。昨日は知立神社で茅の輪神事が行われました。この茅の輪は地域の皆様がマコモを植え、そのマコモを使って作られました。このようなことも、市史編さんを行いながら後世に引き継いでいくことが大事なことです。</p> <p>先日の刊行記念講演会では、特に過去の合併問題について興味深くお話を聞かせていただきました。過去に合併の話があった時も、区画整理や学校の校舎建築を行ったり、独立独歩の道を歩みしっかりとまちづくりを進めていたということです。そのようなことも、これからの知立のまちづくりを進める上において参考になると思います。</p> <p>市史編さんは、後世に引き継いでいくことと併せてより良い知立をつくっていくことに役立てることが目的です。本日はよろしく願いいたします。</p> <p>2 委嘱、委員紹介</p>		

事務局：本年度につきましては2名の方が入れ代わっています。区長会代表の小林委員、校長会代表の杉浦委員でございます。一言ずつごあいさつをお願いしたいと思います。

小林委員：南陽区の小林です。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。

杉浦委員：知立小学校の杉浦です。歴史について学ぶ機会が少ないので、この機会を生かして今後につなげていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

事務局：ありがとうございました。他の委員の皆様におかれましては、昨年度に引き続きよろしくお願いいたします。また時間の都合上一人ずつごあいさつはいただけませんが、配布資料の「市史編さん委員会会場図」と「市史編さん委員名簿」によりご確認をいただき、ご紹介にさせていただきたいと思います。

3 報告

(1) 平成28年度活動実績について〔資料1〕

事務局：資料1により編集委員会及び各部会ごとに概要の説明をする。

林会長：説明が終わりました。ご質問はございませんか。

委員：特に無し

(2) 平成29年度活動計画について〔資料2〕

事務局：資料2により編集委員会及び各部会ごとに概要の説明をする。

林会長：説明が終わりました。ご質問はございませんか。

委員：特に無し

(3) 資料編「近世」、「自然」の販売価格について〔資料3・別紙1・別紙2〕

事務局：資料編「近世」、「自然」の販売価格につきましては、これまでに刊行した新編知立市史の算定根拠を踏襲し、①他市の販売価格及び前知立市史の販売価格を参考、②新編知立市史としての価値、③市民の皆様にご購入していただける価格はどのくらいか、④印刷製本費落札額から購入者負担と公費負担の割合、を考慮して、「近世」は3,100円、「自然」は4,700円と決定させていただきました。

林会長：説明が終わりました。ご質問はございませんか。

委員：特に無し

林会長：次は「4 講話」となっておりますが「5 その他」を先に行い、最後に講話をお聞きしたいと思いますので順番を入れ替えます。

5 その他

事務局：「新編知立市史刊行記念講演会 実施報告」により講演会の実施報告を行う。

西宮委員：アンケート結果を見ると、購入されなかった理由に「価格が高い」とある。資料編「自然」はオールカラーなので高くなるのは仕方ないと思うが、3,500円だと手が届

くのではないかという気が個人的な感覚ではする。それぞれ本の好きな方、あまり買わない方によって異なるが、そのあたりを考慮して、価格を今後付けていただければと思う。

清水委員：知立の近世は宿場など大事な箇所なので、資料編「近世」の3、100円は良い値段だと思ふ。

西宮委員：資料編「自然」はオールカラーなので、それを考えると4、700円は妥当な値段だと思ふ。市民感覚をアンケートをとるなどして考えていただければと思ふ。

川合副会長：飛ぶように売れるのは難しく、値段の付け方も難しいと思いました。広報ちりゅうや市役所出入口のモニターでもPRしていますが、研究者にはいろいろなことが盛り込まれていて興味深いと思いますが、一般の方が市史を買うには難しいものではないでしょうか。安ければ売れるというわけでもなく、価値を十分にお伝えしていくことが大切だと思ひました。

清水委員：アンケートに「図書館の貸し出し分を増やしてほしい」という意見もある。

700部の印刷部数は、販売数や献本数も含めてその妥当性の検証はされているのか。

事務局：現状、700部のうち約300部は図書館などに献本しています。当初の段階で部数を決める検証はしていると思ひます。

清水委員：売れそうな巻の部数を増やすのも良い。別巻「八橋編」は増やしても良いと思ふが、資料編だとなかなか売れないので、部数を減らすなどの検証をされてはどうか。

林会長：一般的に、部数を落とすと単価が高くなるなどがあるかもしれません。

西宮委員：どこの自治体でも刊行部数の設定は難しい。巻によって売れる部数に大きな差があり、愛知県史などのデータを参考にして刊行部数を算出した方が良く思ふ。

林会長：ありがとうございます。他にはございませんか。

委員：特に無し

4 講話

(1) 題名：資料編「近世」について

講師：名古屋大学教授 池内 敏 氏

(2) 題名：資料編「自然」について

講師：愛知教育大学名誉教授 大和田 道雄 氏